

記入内容

新型コロナウイルス対応支援助成
事業計画

申請事業名(主)	コロナ禍のパフォーミング・アーツ支援
申請事業名(副)	沖縄文化を根絶やしにしないための支援と投資

入力数 主 18 字 副 20 字

申請資金分配団体名	公益財団法人みらいファンド沖縄
-----------	-----------------

休眠預金事業への採択/申請歴	<input checked="" type="checkbox"/> 2019年度資金分配団体(通常枠)に採択	<input type="checkbox"/> 2020年度資金分配団体(通常枠)に採択	<input checked="" type="checkbox"/> 2020年度コロナ緊急助成資金分配団体に採択	<input type="checkbox"/> 2021年度資金分配団体(通常枠)に申請/採択	<input type="checkbox"/> 2021年度コロナ支援助成資金分配団体に採択
	<input type="checkbox"/> 2019年度実行団体(通常枠)に採択	<input type="checkbox"/> 2020年度実行団体(通常枠)に採択	<input type="checkbox"/> 2020年度コロナ緊急助成実行団体に採択	<input type="checkbox"/> 2021年度実行団体(通常枠)に申請/採択	<input type="checkbox"/> 2021年度コロナ支援助成実行団体に採択
	<input type="checkbox"/> 採択歴なし 該当する箇所に√(チェック)を入れてください				

優先的に解決すべき社会の諸課題

該当する領域に√(チェック)を入れてください(複数可) **左側で√した領域に、対応する分野に√を入れてください(複数可)**

領域	分野
<input type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 1)-①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子供の支援
	<input type="checkbox"/> 1)-②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> 1)-③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 2)-④働くことが困難な人への支援
	<input checked="" type="checkbox"/> 2)-⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> 3)-⑥地域の働く場づくりの支援
	<input type="checkbox"/> 3)-⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/> 上記以外の「解決すべき社会課題」を選択される場合には、その領域と分野を記載ください。(50字以内)
------------------------	--

入力数 49 字

実施期間	2022年2月 ~ 2023年3月	事業対象地域	特定地域(沖縄県)	事業対象者: (助成で見込む最終受益者)	沖縄県内におけるパフォーミングアーツ従事者(実演家、技術者、制作・マネジメントその他)	事業対象者人数	1000人以上
------	-------------------	--------	-----------	-------------------------	---	---------	---------

I.団体の社会的役割

(1)申請団体の目的	沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
(2)申請団体の概要・事業内容等	(公財)みらいファンド沖縄当財団は、公益法人格を有し市民コミュニティ財団として以下の公益目的事業を実施する。 公益目的事業1 情報流通事業 公益目的事業2 資金循環事業 法人運営

入力数 (1) 119 字 (2) 89 字

II.事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題	今回のコロナ禍において、パフォーミングアーツ従事者(音楽、演劇、映像、伝統芸能、舞踊、舞踏、舞台技術者etc)の活動の場が絶たれつつあるという社会課題をテーマとしたい。
■観光立県沖縄の一翼を担ってきたパフォーミング・アーツ従事者のコロナ禍の窮状	沖縄県は我が国固有数の観光立県であり、7047億円にも及ぶ観光収入(2019年)を支えるのは、海や気候など自然的資源に加え、沖縄県独自の史跡や文化、芸能など社会的、文化的資源に拠るものと考えられる。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2021年上期(4-9月)の観光客数は前年比81.8%減という状況であった。エンターテインメント・コンテンツ産業の従事者にとっても深刻な影響を及ぼしている。
■従事者の困りごと、「芸」「技術」の退化、意欲の減退、雇用問題	パフォーミングアーツ従事者の過半数はフリーランス。彼らの従事形態は専業者と副業者がおり、副業者のパフォーミングアーツにかかる比率はグラデーションがある。それぞれの課題としては、 ・専業者→コロナ禍で廃業→ポストコロナ復帰は困難。 ・副業者→生活基盤は他にあるが、活動の場がない。
■そこで以下のような課題設定を行う	課題1:現場がなくなったと同時にその研鑽場所も奪われていることで、パフォーマンスにかかる技術が退化し、意欲が落ちている状態。ちなみに財団調査でも年間数回程度の現場もっていた実演家が平均で82%の機会損失となっている。 課題2:もともと不安定だった契約、賃金、補償等、労働環境の課題。 エンタメ業界の慣例では未だに口頭での契約が多く、往々にして受発注書や契約書も発行されない。フリーランス人口が多い県内において環境整備は急務と言える。

入力数 800 字

III.申請事業

(1)申請事業の概要	2つの事業募集 ①課題1に対して、今後もパフォーミング・アーツ従事者の目標となる「現場」の開発 想定しているのは、沖縄発のネット配信プラットフォームの開発。従事者には「現場」の再建が急務、先行きが不透明な中当面確実性のある現場はネット配信ジャンルだと考える。 ②課題2に対して文化芸能、パフォーミングアーツ従事者の社会的地位向上、セーフティネットの整備を目指す パフォーミング・アーツ従事者の事業協同組合、職業別組合(ギルド)を設立計画の策定。技術者も含めた包括的な職能団体の確立により、契約、賃金、補償など労働環境の整備を目指すものとする。最終的には行政へのアドボカシー活動とつなげていきたい
299 字	
(2)活動(資金支援)(実行団体の活動想定)	時期
実行団体に求めるもの リアル以外の「現場」の創出と新規ビジネスの選択肢の創出 ①の事業で行う事業は、パフォーミング・アーツ従事者の新しい現場作りの提案を募集。別添資料のものもあるように、同じくコロナ禍での困窮状態にあるライブハウス等を活用しながら、「沖縄発配信チャンネル(仮)」のテスト配信を行う。この事業の妥当性は、新たな現場作りを持って困窮する従事者の新たなビジネスの可能性を感じてもらいながら、つちかった技の研鑽場所を維持することである。さらに技術スタッフも同様の境遇であるため配信技術者としての人材育成の場としてもいきたい。事業は配信に関する手数料をベースに継続を担保したい	2022年4月~2023年3月
実行団体に求めるもの パフォーミング・アーツ従事者の事業協同組合の設立の計画作り ②の課題に対する事業としては、他業界や文化芸能ユニオンの先進事例研究から入り、沖縄県内でのパフォーミング・アーツ事業協同組合(以下、「沖縄パフォーミングアーツユニオン」)のあり方を専門委員会を組織運営しながら素案を策定したい。同時に、パフォーミング・アーツ従事者を支える中間支援機能の充実が必須要件だと考えている。最終的な次年度以降の運営イメージは沖縄県文化振興会等との連携を行いながら、行政施策とのタイアップも見据えた計画策定を行いたい。そのため沖縄県文化振興会のオブザーバ参加の内諾を得ており、アドボカシー活動を並行していくことで、実行団体の以降の活動を担保したい。	2022年4月~2023年3月

(3)活動（資金分配団体による伴走支援）	時期
資金分配団体として、実行団体を行う伴走支援は、 ・事前評価、事後評価の実施についての支援 ・月1回の実施状況の確認と事業実施に関する助言等 ・事業の実施状況・取り組み事例の共有に資する情報公開等 ・円卓会議の開催支援	円卓会議は2回開催、事前（2022年5月）と中間評価後（2022年11月）を行う

(4)今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
実行団体の事業実施による活動の結果目標 沖縄発のネット配信イベントが複数回開催され、「現場」が創出されている状態	配信イベントに関わる人数	配信イベント開催数 配信イベントにおけるアーティストの参加数 配信イベントにおける視聴者数	配信イベント 5回 イベントに参加するアーティスト数50人 配信イベント視聴者数1000人	2023年2月
実行団体の事業実施による活動の結果目標 「沖縄パフォーミングアーツユニオン」の事業計画の策定とパフォーミング・アーツ従事者の理解が深まっている状態	事業計画にかかるワークショップや委員会の参画 パフォーミング・アーツ従事者への啓発と理解度	ワークショップ・委員会開催数と延べ参画者数 パフォーミング・アーツ従事者への説明を行った人数	委員会5回、ワークショップ5回 説明会3回等	2023年2月

(5)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態
1.沖縄県内のパフォーミングアーツ実演家などのジャンルでも参加可能な配信のプラットフォームが完成し、複数回のテストイベントが行われている状態 2.県内のパフォーミングアーツ従事者50組以上の方々が、仮称：「沖縄パフォーミングアーツユニオン」の意義を理解している状態

入力数 132 字

IV.実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数	2-3団体	(2)1実行団体当たり助成金額	1000万円～4000万円程度（総額8千万円）
(3)申請数確保に向けた工夫	現在2-3団体に打診中、協働調査を報道してもらった新聞社にも協力依頼し確保に向けての下準備を行っている。 事前調査と人脈		
(4)予定する審査方法 (審査スケジュール、審査構成、留意点等)	選考プロセスは、当財団の従来通りの手法を取る予定。JANPIAとの契約後1ヶ月を目処に選考を行いたい。		

V.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	平良PO（副代表理事）、事業担当PO（新規雇用）、総務経理担当（新規）
(2)他団体との連携体制	沖縄県文化振興会とは、連携しアドボカシー活動のパートナーとして考えている
(3)想定されるリスクと管理体制	ライブ配信時の感染対策が必須、沖縄県のガイドラインの沿って運用

VI.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
①コロナウイルス感染症に係る事業	<input checked="" type="checkbox"/>			
本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無	<input type="checkbox"/> 有の場合その詳細
本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない。	無			※有の場合、選定の対象外となります（公募要領；助成方針参照）
本申請事業以外の事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有		無	有の場合その詳細 子どもの貧困にかかる助成金分配を行っている20万円程度 多文化共生 医療助成
②-1その他、助成金等の分配の実績	直近3年度で77,595,988円（80件程度）			
②-2前年度に助成した団体数	25件	②-3前年度の助成総額	4,307,987円	
(2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等の実績	<p>円卓会議開催</p> <p>9/9(水) コロナ禍の外国人留学生地域円卓会議、オンライン2日型 みらいファンド沖縄 46名</p> <p>2 10/11(日) 沖縄科学系人材育成円卓会議、オンライン2日型(派遣) 子供科学技術人材育成事業事務局 11名</p> <p>3 10/10(土) 部活動派遣費問題を考える円卓会議(サッカー協会)、オンライン2日型 沖縄県サッカー協会 5名 みらいファンド沖縄</p> <p>4 10/26(月) 沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業地域円卓会議 沖縄市、8名 うるま市</p> <p>5 10/27(火) Withコロナ時代の新しいまちづくりを考える地域円卓会議、オンライン+リアル2日型 なは市民協議会 約28名</p> <p>6 11/6(金) 部活動派遣費問題を考える円卓会議in豊見城、オンライン2日型 豊見城市体育協会 5名 みらいファンド沖縄</p> <p>7 11/21(土) コロナ禍で生まれたまちづくりを考える地域円卓会議、リアル1日型 那覇市 20名</p> <p>8 1/7(木) スクールロイヤーを子どもの視点から考える地域円卓会議、オンライン1日型 (一財)鎌倉フェロシップ 21名</p> <p>9 1/30(土) 部活動派遣費問題を考える地域円卓会議、オンライン1日型 みらいファンド沖縄 54名</p> <p>10 2/16(火) ちゅらゆい社内地域円卓会議、オンライン1日型(派遣) 沖縄県自立支援センターちゅらゆい 32名</p> <p>11 3/24(水) コロナ禍の子ども支援者地域円卓会議、オンライン1日型 みらいファンド沖縄 19名</p>			